



# 白井 しょういち うすい 正一 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 幕張新都心拡大地区への新駅設置構想 東京五輪までの実現を

千葉市美浜区選出の白井正一県議(4期)は、住み良い街の実現に全力を上げています。12月県議会商工労働企業常任委員会に臨んだ白井県議は、幕張新都心拡大地区への新駅設置構想を取り上げ、「拡大地区の北側住宅地の住民は、新駅とともに南北をつなぐ自由通路ができるのを心

待ちにしている」として、オリンピック前の新駅設置の見通しを質問しました。また、企業庁の幕引きに対して発言を求め、「新たな組織においても、街づくりの観点を忘れず、それに配慮した分譲が求められる。地域の発展に貢献するような分譲をお願いしたい」と要望しました。

### 自由通路、幕西・浜田地区の魅力向上



商工労働企業常任委員会で質問する白井正一委員

### 12月県議会商工労働企業常任委員会

白井委員 幕張新都心拡大地区の新駅設置について、仮称・幕張新都心新駅設置調査会を立ち上げる予定とのことだが、これについてうかがう。この調査会で調査する内容とはなんなのか。また、スケジュールはどうなっているのか。

事業調整推進課長 今後、立ち上げる予定の幕張新都心新駅設置調査会は、新駅設置の可能性の調査を行うために立ち上げるものです。その調査内容は、駅舎や線路の北側と南側を横断す

自由通路の予定地の測量、地質調査、また、乗降客数に応じた駅舎の規模やその駅舎等の設置にかかる概算事業費等です。

スケジュールにつきましては、測量、地質調査を年明けには着手しまして、この調査結果を踏まえて、来年度早々に駅舎の規模や概算事業費等の調査を開始し、秋を目途に調査結果をまとめていくという想定です。

白井委員 北側に位置する住宅地では、新駅ができて、南北をつなぐ自由通路がで

きることを心待ちにして、住民がたくさいる。

非常に幅が広いということ、これがあるのと無いのでは、検討項目に入っているということ、安心した。

新駅を作る効果を最大限に生かすには、やはり、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに間に合わせる必要があるかと思、オリンピック前の新駅設置の見通しはどうなの

事業調整推進課長 新駅設置の見通しはというご質問ですが、これから調査を行っていくので、現時点で明確にお答えすることはできません。しかしながら東京オリンピック・パラリンピック開催における幕張新都心の交通利便性の向上は重要な課題と認識しており、ですので、今後の調査研究に全力で取り組んでまいりたいと考えています。

**うすい 正一 県議 PROFILE**

■経歴■

- 昭和50年1月 千葉市検見川町生まれ
- 平成9年3月 日本大学文理学部卒業 英オックスフォードアカデミー修了
- 平成14年10月 衆議院議員秘書
- 平成15年4月 県議会議員初当選(4期連続当選)

■現職■

- 県議会 議会運営委員会副委員長
- 商工労働企業常任委員会委員
- 千葉県 生活衛生適性化審議会委員
- 自民党県連 青年局長



JR京葉線の新駅設置が構想されている幕張新都心拡大地区

が予想されるので、海浜幕張駅の改札の増設も要望していくつもりであるが、一方で、新駅ができることによる利用客の分散化という観点から、ぜひ、オリンピックに間に合うように、スピード感をもってこの調査会調査項目の検討を行っていただきたい。強く要望します。

県政や千葉市美浜区のご相談、ご意見を聞かせてください

**うすい 正一 事務所**

〒261-0004 千葉市美浜区高洲1-9-7-2  
TEL 043-244-0033 FAX 043-244-2200

メールもお気軽に、ホームページも開設しています。 E-mail usui@shoichi.info URL=http://www.shoichi.info



# 検見川陸橋の交通スムーズに

## 白井県議の要望実る

### 信号サイクル改善



信号サイクルの変更により車両、歩行者ともに安全で快適に通行が可能になった

千葉市検見川5丁目の国道14号と東関東自動車道の海側交差点は、青信号で進行する歩行者や自転車が、千葉西警察署方向へ左折しようとする自動車に滞留、陸橋上の自動車の流れにも影響を及ぼしていました。

白井県議は平成27年2月県議会一般質問でこの問題をとり上げ、陸橋上の自動車の流れがスムーズになるよう、信号サイクルの改善を要望しました。

この要望に対し、県警本部は早速、検討に着手。歩行者などの青信号を、陸橋側道からの青矢印信号の標示のタイミングに合わせることで、自動車の流れが滞らないようにしました。



### 幕張メッセ

# 昨年度の稼働率46.9% 経済効果、約1千億円

白井委員 幕張メッセ関連でうかがう。幕張メッセの競争力の強化を図るため、今後、県としてどう対応していくのかという質問に対して執行部は、幕張メッセの更なる施設の利用促進と経済効果の拡大を図るため、幕張メッセの競争力を今以上に強化することが重要と認識している。施設の大規模改修に加え、オリ

ンピックでの知名度の向上や周辺商業施設との連携強化に向けてハード・ソフト両面からしっかりと取り組んでいくと答弁した。そこでうかがうが、最近の幕張メッセの利用状況はどうなっているのか。また、幕張メッセの経済効果をどのように把握しているのか。 経済政策課長 最近の幕

張メッセの利用状況ですが、直近の平成26年度におきましては、3年に一度の開催の大規模展示会であり、国際プラスチック展、これは全部で84ホールも使う大きな展示会なのですが、これが開催されたことや、夏季のイベントが前年度に比べて大変、多くの利用をいただいたということもありまして、25年度に比べますと、253ホール多い1885ホールの利用がありました。これを単純に全ホール数で割ったものを稼働率と考えますと、46.9%という状況です。これは平成8年に東京ビックサイトが開業して以来、最大の利用となっています。

今年度の状況は、昨年度のような数年に一度の大規模イベントがないということもありまして、当初予算段階では平成25年と同程度というところで、1635ホールを見込んでいました。しかし、その後、コンサートなどの増加がかなりありまして、好調な利用状況が続き、現時点では今年度中も1800ホールを越えるのではないかと見込みと なっています。

最近では見本市や産業展示会のほかに、音楽やゲーム、またアニメといった文化娯楽系のイベントがかなり増加している状況です。幕張メッセの経済効果ですが、幕張メッセでは毎年600件を超えるイベントが開催され、500万人を

## 「幕張」の名を世界に

超える来場者が訪れていて、平成27年7月には開設以来の来場者が1億5千万人を超えるという節目を迎えました。幕張メッセを核とし、幕張新都心では進出企業も400社を超えるなど、本県産業、文化の発展、また国際化の進展に非常に大きな役割を果たしていると考えています。

白井委員 平成26年は46%で、今年度もほぼこれに近い稼働率を確保できるとのことだった。本会議でも議論されたことがあったが、イベント関係は週末、金土日を中心に集中するので、週末だけを見れば、稼働率はほぼ100%に近いのではないかと推察する。

更なる経済効果の拡大のために、幕張メッセで開催されるイベントの件数を増やす努力をしていただくと同時に、経済効果が高いといわれる国際会議やビジネス系の展示会などに加え、メッセ周辺で行われたエアリースのようなブランド力が高いイベントを誘致することも非常に肝要となると思う。

## 地域発展に貢献する分譲 企業庁の後継組織へ確認

白井委員 企業庁が今年度で収束して新たな組織として出発する。新たな組織においても、街づくりの観点をおき、それに配慮した分譲が求められる。改組後もそういった考え方がしっかりと引き継がれるということをおき、今一度確認しておきたい。

土地分譲課長 後継組織におきましても、これまでと同じようにその土地の特性ですとか、引き合い状況を勘案しながら、早期分譲に努めていきたいと思っています。

具体的には申し上げませんが、例えば千葉市の検見川地区におきましては、公益施設用地とか学校といったものが企業庁に戻ってきます。それを処分するということが、用途変更ということもございまして、周辺に住民の方が生活していることもございまして、住民説明会を行うなど、十分に地元の方々の意見を参考にしながら、街全体の調和を図れるよう分譲条件などを検討していきたいと思っています。